

所属名	事務事業名	ページ番号
秘書課	表彰事務	2
秘書課	市民べんり帳作成事業	3
秘書課	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	4
秘書課	市政への提言	5
秘書課	広聴事業	6

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	表彰事務	事業期間	昭和 44 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	野口 英史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	29参加と協働によるまちづくり	
	基本事業	市民活動団体への支援	

1 事務事業の基本情報

事業概要	様々な分野での功績や市民の模範となる善行の行為を称えることで、その分野の関心が高まり、受賞者やその分野に携わる者の励みとなり、今後の更なる研鑽を喚起する。 議員、職員の功績を称え、職務における今後の更なる活躍を促す。				
事業の対象者	市民等（市政に功績のある者）、議員、職員				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市表彰【市政功労者表彰】個人19人、1団体 ・特別表彰 個人3人、3団体 ・議会議員表彰 在職30年 2人、在職20年 2人、在職15年 2人 ・職員表彰 勤続30年以上 59人、勤続20年以上 32人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,324	3,744	2,535		
うち佐賀市の負担額	2,324	3,744	2,535		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市表彰者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	50 68	30 26	35	55		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	自治会長及び児童委員・民生委員の改選に伴うもののほか、特別表彰対象者が増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市表彰において団体推薦以外に、地道に活動されている個人・団体をさらに積極的に推薦してもらうよう各課に促す。 民生委員・児童委員の改選時期に合わせて、3年ごとに受賞対象者が多くなるため、令和6年度の目標人数を多く設定している。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民べんり帳作成事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	野口 英史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の日常生活に関わりが深い市のサービスや施策を紹介するための冊子を、3年に1度の間隔で制作し市内の全世帯に配布する。また、市内への転入者へ配布する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	令和2年度に作成した市民べんり帳を転入者に配布（令和5年3月末保有数） ・市民べんり帳保有部数：4,500部 ・点字市民べんり帳保有部数：6部 ・声の市民べんり帳保有枚数：5枚				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,015	0	0		
うち佐賀市の負担額	9,888	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
62.26	65 62.26	69 62.26	72	76		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	市民にかかわりの深い行政情報を掲載した。



成果目標達成に向けた対応策等
市民にかかわりの深い行政情報を提供し、生活に必要な行政情報を常時取得しやすくすることで、市民の市役所での手続きなどを容易にする。 令和5年度版の制作にあたり、より分かりやすい掲載方法について検討を進める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	事業期間	平成 23 ～ 年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	野口 英史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要	本市の特産品を市外在住者に贈呈する時に、特産品の宣伝を行うことで、当該特産品の認知度を上げるとともに、本市職員の宣伝能力の向上を図る。				
事業の対象者	市外対象者				
令和4年度 主な活動実績	特産品として登録数34品中13品目の宣伝を実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	179	256	409		
うち佐賀市の負担額	179	256	409		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特産品の贈呈数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	150 102	150 158	150	150		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	令和4年度後半は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄まり、市外との往来ができるようになったため、目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
職員への事業目的の周知と職員の宣伝能力向上を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市政への提言	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	野口 英史
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広聴の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【市長と円卓トーク】行政と民間が一体感をもって市政の重要なテーマに取り組んでいくため、市内で活動されている団体や事業者等と未来志向の意見交換を行う。 【市政への提言】提言箱及び電子提言箱等に市民から提出された提言等を市政施策に活かす。提言者が回答を希望する場合には回答を行い、公開希望の提言は市HPで公開する。
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者、市政に関心がある者等）
令和4年度 主な活動実績	【市長と円卓トーク】 4回開催 【市政への提言】提言制度の周知のため、全ての職員出前講座の際に提言用紙の配付するとともに市施設（本庁、各支所、公民館等）の47か所に提言用紙を設置。また、市報においても提言制度の周知を行った。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24	81	1		
うち佐賀市の負担額	24	81	1		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市長と円卓トークの開催回数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	-	4	4	4		

成果指標②						単位
施策へ反映等を行った提言の数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
138	339 157	347 166	355	364		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	市政への提言は、回答を求めないものも多数あるため



成果目標達成に向けた対応策等

【市長と円卓トーク】市政の重要なテーマについて、市長自らが想いや政策を伝え、意見交換する貴重な機会であるため、今後もしっかり取り組んでいく。
【市政への提言】制度の周知を行いながら、提出された意見については、早期に担当部署と共有し、市政に反映していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広聴事業	事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	野口 英史	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	広聴の充実		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【インターネット市政モニター】市の施策や事業について、市民の意見を調査し、市政運営の参考とするため、モニター登録いただいた市民に対して、インターネットを利用した市政アンケートを行う。 【職員出前講座】市内に在住又は通勤・通学している10名以上の団体に対し、市の担当者が出向き、市が行っている業務の内容等を説明する講座を実施する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者）				
令和4年度 主な活動実績	【インターネット市政モニター】 アンケート 7回実施 制度周知及び新規モニター募集のため、市報への掲載、ラジオでの広報活動を行った。 【職員出前講座】 計129回開催（参加総数 4,131人） 講座テーマについて、15件の変更、2件の新規追加、1件を廃止する見直しを実施 出前講座について市報で広報を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	547	569	501		
うち佐賀市の負担額	547	569	501		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市政アンケート協力者の回答者数（延べ人数）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,327	1,393 1,534	1,463 1,845	1,536	1,613		

成果指標②						単位
職員出前講座の開催回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	72 107	76 129	80	84		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	【インターネット市政モニター】新規登録キャンペーンの実施、回答啓発メール等により、目標を達成した。 【職員出前講座】人気講座の継続と、新規講座の開拓により目標を達成した。



成果目標達成に向けた対応策等
【インターネット市政モニター】新規モニターの募集及びアンケート実施について、市報・テレビ・ラジオ等を用いて市民への周知を行い、アンケート回答者数増に努める。 【職員出前講座】市報を活用し市民への周知を行うとともに、市民が受講したくなるような講座を増やし、実施回数増に努める。